

### 3 落書きのないまちづくり事業

（担当）今後も協働して続けていきたい。

Q 交通費とはここに書かれているだけか。

A 名目的なところもある。

（意見）金額が多いと言っているのではなく、人件費に対する考え方を両方で考えていくべきではないか。

Q 落書きはだれが消しているのか。

A 公のものは、市から所有者に連絡をとってもらう。民のものは、被害を受けた方の了解を受けて、市を経由して消していく。

Q 割合はどのようになっているか。

A 圧倒的に公共施設が多い。

（担当）情報をいただいて、所有者の方に連絡をとって消してもらっている。民については、団体に協力していただいて消してもらっている。

以上